



A R T

All Rikkyo Tennis

立教大学体育会庭球部部報

発行所

立教大学体育会庭球部

〒171 豊島区西池袋3丁目

電話 (3985) 2680

発行人 中村純也

さらなる飛躍へ!!

即、四部昇格

部員諸君の更なる 健闘を期待して

庭球部長(代理)
舟田 正之

昨年、部長になられた栗原謙二先生が、今年一年間、米国で研究をなさることになり、私がその間、部長の代理を勤めることとなりました。

その初めの時に、四部昇格となり、喜びに堪えません。部員諸君の健闘を讃えたいと思います。また、この機会に、OB会が活発な活動によって、当部を支えて頂いたことを知りました。誠に有難うございました。

なお、この場で述べるにはふさわしくないことかとも思いますが、部長(代理)の職に就いて部員諸君とよく会うのが授業の欠席届けに署名・捺印する際であるというのは予想外のことでした。

試合のために授業を欠席することはやむをえません。できれば部活動と授業の両方もしっかり活躍して欲しいと思います。

四部昇格に寄せて

庭球部OB会長
岸本 駿二

五部リーグでの優勝、入替戦に完勝しての四部昇格に心から「おめでとう」と申し上げます。屈辱の五部から早期脱出を目指し、OB会でも驚田新監督のもと強化委員・コーチ陣が結束して指導に当りましたが、現役部員もよくこれに添えて厳しい練習に耐え努力した成果だと思えます。同志社戦・リーグ戦を通じて得た「勝つ喜び」を大き



四部昇格あめでどう

庭球部OB理事長
豊田 資朗

な財産として深く心に刻み、最終目標「一部」への階段を足早に駆け登ってこれるものと信じています。多忙の中で練習指導に学生と一緒に汗を流し、リーグ戦の応援にお出掛けいただいたOBの皆さんに感謝します。

澄みきった空のもと、充実感と満足感があつた。そして爽やかな風が肌に感じた五月八日であった。現役全員の目標に対する執念が実り、9-0で一橋大学を破り、四部に昇格することが出来、喜びに耐えませんでした。二十六名の部員の内、インターハイに出場した事のない部員や大学に入って初めてテニスを始め部員がほとんどです。その中で四年生が中心になって、かつての栄光と伝統のプレッシャーに耐え、本当に良く頑張ってくれてありがとう。特に監督に就任した驚田監督については、現役の個性を尊重し、近代的な練習方法を取り入れ、指導してくれた結果が昇格という成果に結びついたと感謝しています。彼を支える藤井、山田両コーチとのチームワークも見事でした。又リーグ戦を通じて沢山のOB諸兄の応援が現役の気持ちを熱くさせて、気力もより充実し、回を重ねるごとに勢いを増し、最終戦の対成城大学戦9-0、入替戦9-0、と見事な戦果を収める事が出来たと思えます。今後は常に「驕らず」、「高ぶらず」の気持ちを持ち、三部昇格

四部昇格をして

監督 驚田 典之

昨年、前監督の倉光先輩からバトンを引き継いだ時、私なりに学生を強くするにはどうしたら良いのか、何が必要なのかを考えてみました。

一、強化体制として強化本部を設置し強化委員を選出して頂き、ここで強化に対する色々なご意見を出して頂き、指導スタッフは強化委員会と協議協力のうえ指導を行っていく様にします。

二、強化対策として、①立教中学、高校との連携を計り、一環した技術指導、トレーニングを行っていく事、②継続的なトレーニング、筋力測定を行う事、③指導スタッフの指導方針が一致するようにする事。

三、私の指導方針の柱として、「スピードと回復力(スピード持久力)」がつくような練習とトレーニングを中心に行う事。

四、学生自身が「この練習をしていけば強くなれるんだ」と思える様にします。

以上の事が必要と考え、豊田理事長にお話しした所、理事長のご尽力により岸本会長をはじめとするOBの方々のご賛同を得る事ができ、力強いご支援を感じました。また学生達も4年生を中心に良くまとまり、私の言葉に耳を傾けてくれ、1年間を通じて練習、トレーニングに励んでくれました。

最初に主将の千葉をはじめとする学生達に逢った時、「本当に強くなりたい」というやる気を感じました。技術的にも私が想像していた5部のレベルとは

違い、3部でも十分通用すると思えました。しかし彼らには「自信」がありませんでした。秋の同立定期戦で久しぶりの同志社に勝つても、リーグ戦直前に行った練習試合で3部の東大に勝つてもまだまだ自信がもてない様でした。

その不安がリーグ戦前半では顔をのぞかせ、競った試合を落とすという形になり、第2戦の明学戦で4-5で敗れてしまいました。しかし第3戦の東工大戦に勝った頃から徐々に自信をつけ、最終戦の成城戦ではファイナルセットにもつれこんだ4試合全てに勝って9-0で勝ち、勢いに乗る事ができました。入れ替わりでもこの勢いは止まらず、9-0の完勝で4部に昇格する事が出来ました。第3戦から単複全勝の千葉と曾我石、単全勝の太田、マネージャーながら複で活躍した中村、最後に男をあげた青嶋、2年生ながらエースとして活躍した阿部、1年生ながら大活躍した桑田、途中から控えに回ったが精一杯やってくれた小俣と村木、試合には出場できなかったが一生懸命ベンチコーチ、応援をしてくれた4年生、そして審判、ボールボーイ、応援を必死でやってくれた3年生以下の部員諸君おめでとう。

今年の「この勝った時の嬉しさを忘れず」、来年は3部昇格を目指して部員、スタッフ一同頑張りますので、今後共OBの方々の御支援、御鞭撻をお願い致します。

最後になりましたが、部員と私の橋渡しをして下さいました栗原庭球部長、私のわがままを色々聞いて下さった岸本会長、豊田理事長をはじめとしてご支援頂きましたOBの方々、小西強化本部長をはじめとする強化委員の方々、リーグ戦の全試合に来てベンチに入ってくれた藤井コーチ、実業団リーグの現役選手として忙しい中を指導、応援してくれた山田コーチ、本当にありがとうございました。誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成6年度年間予定表

	立教大	明学大	東工大	成城大	東経大	横国大	勝敗	勝点	勝ポイント	失セット	順位
立教大	×	×	×	×	×	×	4勝1敗	4	32	33	①
明学大	○	×	×	×	×	×	4敗1敗	4	30	34	②
東工大	×	×	×	×	×	×	3勝2敗	3	24	50	③
成城大	×	×	×	×	×	×	2勝3敗	2	17	61	④
東経大	×	×	×	×	×	×	1勝4敗	1	18	60	⑤
横国大	×	×	×	×	×	×	1勝4敗	1	13	68	⑥

9月	8月	7月	6月	5月	4月
・夏合宿II (朝日生命久我山スポーツセンター)	・夏合宿I (新座) ・関東学生テニス選手権大会 (夏期)		・新入生歓迎会	・関東学生テニス選手権大会(春期)	・リーグ戦 (平成6年度)
2月	1月	12月	11月	10月	
・リーグ戦合宿 (春合宿)		・納会	・新年度スポーツフェスティバル ・合同練習会 ・明立定期戦	・秋季リーグ ・新進テニス ・トナメント (1次予選) (2次予選・本戦)	

平成6年度

関東大学テニスリーグ戦結果

第一戦

本学7 (D2-1-1) 2 横浜国大 (S5-1-1) 立大

昨年の悪夢ともいえる五部降格から早一年、皆が心を一にして四部昇格を目指した。五部においての本校の前評判では敵なしと言われていた。実際今年度の主な対抗戦を振り返ると、三部校の帝京大、東大にそれぞれ六対三、五対四、同部校の明学大、東工大にもメンバーを落として共に五対四と勝っていた。これらの要因をさらなる自信として心に持ち、リーグ戦の幕は切って落とされた。

第一戦の相手は横国大。相手に恵まれたといっても良いだろう。格下という事もあり、初戦という大きなプレッシャーを最も

二年 阿部 宏

小限におさえる事が出来た。相手を見たと緊張を隠し切れてはいなかった。

ダブルスNo.3は順当に勝ち、相手が取りに来たNo.2は接戦の末負けてしまった。シングルスは惜しくも一つを落としてしまったものの五対一、計七対二で勝利をおさめた。

他校の情報が入る。明学大が成城大に四対五で負けた。初戦にして本校の五部優勝はほぼ確実となったのだ。

第二戦

本学4 (D2-1-1) 5 明治学院大学 (S2-1-4) 院大

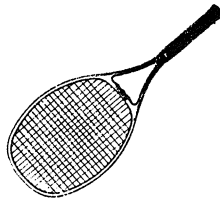
第一戦で横浜国立大学を7-2でくだした本学は第二戦、明治学院大学と対戦した。

明治学院大学は前評判が高く、おそらく本学と1位を争うであろうと思われる強敵であった。

しかし我々の目標は全勝優勝し四部昇格をはたすことであり、こんなところで負けるわけにはいかない。試合前、絶対に勝とうとみんなで気合をいれた。

午前中のダブルスでは、No.1は勝ったが、私のダブルスは負け1-1となった。そしてNo.2はファイナルセットタイプブレークにもつれこむ接戦を制し2-1でおりかえすことができ、我々はおおきに盛りあがった。午後のシングルスにおいても我々の勢いは衰えず、No.5は惜しくも敗れたが、No.3、私がともに競り勝ち4-2となり、あと1ポイントのところまで来た。しかし、残り3試合は惜しくも敗れてしまい、結局4-5で本学は敗れた。

四年 太田 治



我々は一時落胆していたが、残りの3試合を9-0で勝てばまだまだ一位になれる可能性は高い。これからの3試合において絶対に1ポイントも落とさないことあらためてみんなで気合をいれなおした。

第三戦

本学6 (D2-1-1) 3 東京工業大学 (S4-1-2) 業大

一勝一敗で迎えた第三戦、対東工大戦の日がやってきた。明学と東工大が強敵と予想していた中、明学大に敗れた我々にとって今日は、是が非でも勝たなければならなかった。

まず、ダブルス。昨日、部員皆でオーダーを練り上げた甲斐あって見事に当たり、No.2、No.3が勝利。更に、阿部・桑田が強敵本庄・小林をあそこまで追いつめてくれ、非常に我々の自信になり、午後のシングルスに勢いをつけることが出来た。そしてシングルス。見事にオーダーが当たった。中でも、太田が何かに取り憑かれたような、圧倒的強さで快勝してくれた。自身のシングルスを迎えるに当たり、更に勢いづけることが出来た。しかし私はいざ自分の試合になると、以前個人戦で敗れた

経験があるためか、本庄の球のスピードに圧倒され、自信を失いかけてしまった。そこで、ファーストセットを終えた時、よく辺りを見回した。千葉や阿部が必ずの形相で戦っている。四面で試合をしている千葉の気合いの入った声が、私の胸に響き渡った。「俺は何をやっているんだ。負けることを恐れていてどうするんだ。とにかく目の前の一球だけをとるために戦えばいいではないか。」この心境の変化と皆の応援やポラーに支えられながら波に乗り、勝利をつかんだ。この時我々立教健児は四部昇格への更なる勢いをつけたのだ。

四年 曾我石 次郎

第1戦

横浜国立大学 VS 立教大学

Table with 5 columns: No., Player, Score, Opponent, Result. Includes match details for doubles and singles.

第2戦

立教大学 VS 明治学院大学

Table with 5 columns: No., Player, Score, Opponent, Result. Includes match details for doubles and singles.

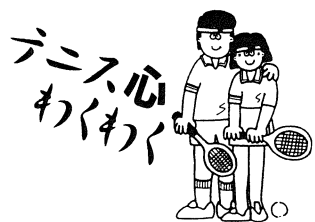
第3戦

立教大学 VS 東京工業大学

Table with 5 columns: No., Player, Score, Opponent, Result. Includes match details for doubles and singles.

全国に展開する

人工芝の(室内)インドアコート

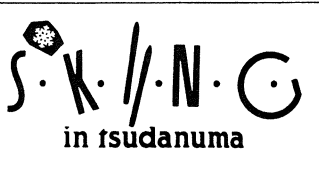


0775-63-7770

草津MIDテニスクラブ

〒525 滋賀県草津市野路町2349

日本初のオールシーズン屋内スキー場



スキーイングイン津田沼

支配人 高橋 道男 〒275 千葉県習志野市津田沼1丁目23番30号 ☎0474-78-1111

総支配人 小西 一三

会員制スポーツクラブ



のびやかな空間で、心を満たすひととき。

スポーツプラザ アルカス 草津 支店 〒534 大阪府東淀川区中野町5丁目13番4号 TEL (06) 923-3001 FAX (06) 923-3003

支配人 大田 洋一

MIDスポーツ施設

アフター園内テニスクラブ



〒450 名古屋市中村区名駅南2-7-71

名古屋MIDテニスクラブ

名古屋駅より徒歩10分

お申し込み・お問い合わせはお電話に

TEL 052-582-8623



大日本法令印刷株式会社

本社工場 長野市中御所町3-6-25

TEL (0262) 28-1113 (代)

支社工場 東京都港区西新橋3-6-10

TEL (03) 3434-8641 (代)

第4戦

東京経済大学 VS 立教大学					
複	No.1	井上・中江	2-6, 4-6	阿部・桑田	○
	2	芳井・寺田	6-3, 7-6(5)	太田・中村	
	3	岡嶋・長野	6-7(1), 2-6	千葉・曾我石	○
単	No.1	寺田武春	4-6, 4-6	千葉泰久	○
	2	芳井賢一郎	6-1, 6-4	阿部宏	
	3	後藤英明	0-6, 1-6	曾我石次郎	○
	4	井上直彦	2-6, 3-6	太田治	○
	5	長野重雄	6-2, 5-7, 4-6	桑田博史	○
	6	中江直史	2-6, 7-5, 7-5	村木祐介	
13		3 { 複単 1-2 / 2-4 }		6 7	

第5戦

立教大学 VS 成城大学					
複	No.1	○ 千葉・曾我石	6-2, 6-1	辻村・海老沢	
	2	○ 阿部・桑田	7-5, 6-3	近藤・小林	
	3	○ 太田・中村	6-2, 7-6(1)	芳山・和地	
単	No.1	○ 曾我石次郎	6-1, 6-1	菱沼太郎	
	2	○ 千葉素久	6-0, 4-6, 6-2	小林達也	
	3	○ 阿部宏	6-3, 7-6(5)	芳山託也	
	4	○ 太田治	6-3, 7-6(4)	近藤泰也	
	5	○ 青崎琢弥	3-6, 6-2, 6-2	海老沢壮	
	6	○ 桑田博史	4-6, 6-2, 6-3	辻村健	
3		9 { 複単 3-0 / 6-0 }		0 18	

入替戦

一橋大学 VS 立教大学					
複	No.1	渡辺・福永	2-6, 5-7	阿部・桑田	○
	2	武田・星野	1-6, 3-6	千葉・曾我石	○
	3	保坂・達	1-6, 6-7(5)	太田・中村	○
単	No.1	菅生健史	1-6, 1-6	曾我石次郎	○
	2	保坂隆志	2-6, 4-6	千葉素久	○
	3	達秀道	2-6, 2-6	阿部宏	○
	4	渡辺開也	2-6, 2-6	太田治	○
	5	福永健弘	6-4, 4-6, 3-6	桑田博史	○
	6	石田光明	1-6, 3-6	青崎琢弥	○
18		0 { 複単 0-3 / 0-6 }		9 1	

第四戦

本学6 (D2-1) 3 東京経済大学

本学は、第一戦の横浜国立大学を7-1、2、第二戦の明治学院大学を4-1、5で惜敗したが、第三戦の東京工業大学を6-1、3で勝ち、二勝一敗で第四戦の東京経済大学戦をむかえました。本学はずっと4部に残留して、3部復帰を目指していましたが、昨年とうとう五部に落ちてしまいました。それ故に今年は全勝で4部昇格を狙っていたが、リーグ戦のヤマの明治学院戦で1敗してしまい、1位で入替戦に望むためにはもう負けられない状態になりました。自分はダブルスのNo.1とシングルのNo.5の2本を預りました。午前のダブルスは当所の予定通り2-1で折り返すことができました。午後のシングルスは先にNo.4・5・6と入りました。自分はNo.5で6と入りました。自分はNo.5で6と入りました。自分はNo.5で6と入りました。

一年 桑田 博史

第五戦

本学9 (D3-1) 0 成城大学

部員全員が思っていたことはこれだけだ。3勝1負での最終戦、入れ替え戦に臨めることはほぼ分かってきていた。しかし誰もそんなことは思っていない。5部優勝、4部昇格、これだけを思って1年間全員で頑張ってきたからだ。この試合は勝つだけでは意味がない。同じ勝敗で並んだ明治学院大学は他会場でおそらく勝利。我々が彼らを抜くには2ポイント以上の勝ち数がこの試合で必要となる。誰も負ける訳にはいかないし、誰も勝つつもりでいる。言葉に出さなくても応援、ジャッジ・ボーラーの部員を含め、全員が同じ目的意識をもった。絶対に優勝するんだと。

四年 中村 純也

入替戦

本学9 (D3-1) 0 一橋大学

五月八日、我々はこの日を迎えた。五月とはいえ夏のように汗ばむ、快晴であった。我々はこの一年五部降格のくやしさを忘れず、「昇格」それだけが部員全員の心を占めていた。それ以外、何物もなかった。灼熱の日も、厳寒の日も、テニスコートでボールを追い続けてきた。そして激しかった練習の苦しさも自信となり、監督への信頼、OBの方の支援を自分たちの力とすることができた。試合が始まると、まさに立教の快進撃だった。我々の勢いは一橋大をよせつけずに勝利へと突き進んだ。ダブルス3-1-0をつけ、シングルスNo.4の太田の勝ちが決まると、あと1ポイントと勝利が間近にせまっていた。No.6で出場していた私は、スコア以上に苦しい試合を展開していた。となりでは桑田がファイナルにもつれこむ接戦をしていた。なんと自分でも自分で決めたかった。私は部員、OBの方の応援を背負って、全員の思いを一球一球にこめた。ベンチにいる監督の目を見ればもう迷いはなかった。マッチポイントをとった瞬間を私は今でも忘れない。全員が歓声をあげ、コートになだれ込み、抱きあい、喜び、うまれて初めて味わううれし涙……。結果的に9-1-0という圧倒的な強さを見せ、選手、ジャッジ・ボーラー、応援、全員一丸となつてつかんだ勝利であった。また、さらに上をめざす立教テニス部の復活の第一歩となる勝利でもあった。

四年 青崎 琢弥

情報と文化の新しい流れを
創りつづけて91年

第一法規出版株式会社
本社 千107 東京都港区南青山2-11-17
TEL.(03) 3404-2251 (代)
支社 札幌/仙台/長野/名古屋/大阪/広島/高松/福岡
営業所 沖縄

テニスを通じて
コミュニケーションラリーをめざす

テニスのことなら、私にまかせて下さい。
ラケット選びから、テニスコートの企画・開発
設計・施工、スクールの運営・指導など、テニスに
関する全ての業務を行なっております。
あなたのコンサルタントとして、お気軽に
お声をかけて下さい。お待ちしております。

フミカスポーツ 倉光 哲
代表取締役 (元全日本チャンピオン)

- フミカテニスショップ**
- 池袋店(西武百貨店8階) ☎(03)5992-8954
 - 新宿店(伊勢丹百貨店新館6階) ☎(03)3352-1111
 - 渋谷店(西武百貨店ロフト地下1階) ☎(03)3462-3667
 - 品川店(品川プリンスホテル内) ☎(03)3447-3068
 - 富士見ヶ丘店(井の頭線富士見ヶ丘駅) ☎(03)3335-7820

- フミカテニススクール**
- 相模園会場(京王線仙川) ☎(03)3307-9203
 - 富士見ヶ丘会場(井の頭線富士見ヶ丘) ☎(03)3307-5776
 - トムインドア会場(中央線豊田) ☎(0425)85-0201
 - 横浜インドア会場(横浜線大口) ☎(045)401-5611
 - スパ白金会場(港区白金台) ☎(03)3444-5811
 - 市川会場(京葉線市川塩浜) ☎(0473)99-8363
 - 高井戸会場(京王線の須賀高井戸) ☎(03)3333-7842

あなたのテニスコンサルタント
フミカスポーツ
〒166 東京都杉並区高円寺北3-22-3
TEL 03 (5373) 1561
FAX 03 (5373) 1562

OBの声

四部昇格あめでとう

有馬八郎先輩 (S43年卒)

この度は四部昇格お目出とうございます。私個人としては次は三部又は二部という簡単な期待はあまりしていません。なぜなら相手校も必ず猛練習をしているし、又色々努力をしていると思うからです。各自がそういう事をたまには頭に入れて他の事を犠牲にしてまでも、練習に精進してもらいたいと思います。さてここ何年間の間に何回となく現役の練習に行きましたが、それで感じた事を少しのべさせていただきます。

私個人の事としてはOBとして行くにあたって毎回一言の話をしなければならぬのですが、頑張ってくれとか四部昇格を期待するとかそのような内容はあまり好きではありません。だからもっと具体的な話をするわけですが、三回四回ぐらいまでなら何とか色々考えればできてきますが、十回以上ともなるとなかなかいい話ができません。何もなければ少し淋しい数多く行く練習よりもこの一言に苦勞します。

さて現役の皆さんの練習風景で一番気になる事は一年二年三年四年という順番で練習試合後に必ずアドバイスがある事です。どういったアドバイスをしているのかを聞いた事はありますが、三十六年間アドバイスには非常に苦勞します。練習時間中にそのアドバイスでかなり多くの時間をとられるのもマインナスではないだろうか。自分の一言で相手が良くなるのは当たり前で、悪くなったらたとえ正しい事を言ったとしても非常に申し訳ないと思うからです。又アドバイスを数多く受ける人間は自分で何かを切り開く力に欠けてくるのではないかと思ったりもします。

次に練習前の体操が非常に長

いような気がします。ラグビーやレスリングのスポーツとは違うのですから、ほどほどにしたらどうでしょうか。以上が簡単ですが感じた事の一部です。現役の皆さんの活躍とOBの皆様方の発展をお祈りします。

コーチとして

藤井孝信先輩 (S59年卒)

4部昇格おめでとう。今年は千葉主将を中心に、よくまとまり、みんなの勝ちたいという気持ちが4部昇格という好結果に結びついたと思う。

さて、今シーズンは驚田監督の下で、コーチとしてどこまでできるかを考えてみた。その結論としては、①驚田監督のよき理解者となる。②できる限りコートに行き、学生とのコミュニケーションをはかる。③リーグ戦に全試合行く。の3点を実行していくようにした。

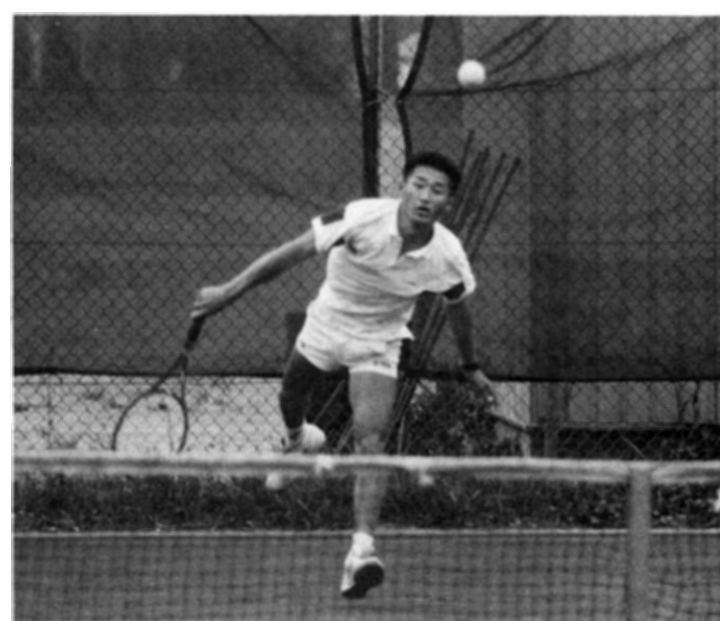
本来、コーチとは選手と常に行動を共にし、技術のレベルアップはもちろんのこと、メンタル面においてもアドバイスしてあげられる相談役でなければならぬ。年間を通して学生たちが活躍できるように見てあげなければいけないが、自分としてできる範囲で努力してみた。通常

の練習においては、技術面よりもメンタルな面を中心にアドバイスをした。リーグ戦においても、ベンチで選手を勇気づけることに徹した。

リーグ戦では、どの試合も一つとして楽なポイントはなかった。しかし、選手は一戦ごとにたくましく成長していった。みんな試合でうまくなくていいことを肌で感じる事ができた。特に接戦における攻撃、またリードしている時の攻め、気持ちなど、出場した選手は試合の中でぶち当たる壁を、少しずつではあるが、克服できるようになったことは、大きな自信となったことと思う。

また、出場できなかった選手、審判、ボールボーイ、女子マネージャー達が裏方にまわり、選手たちを助けました。選んだ選手は選んでよかったこと、心強かったことと思う。

私も学生時代には、驚田監督をはじめ、多くの方々にお世話になった。今度はこの機会に学生達に何かを伝えることがお世話になった皆様への恩返しだと思っている。今後でもできる限りではあるが、立教大学庭球部のために、少しでも力になればと思う。目指すは3部。戦う基礎は必ず出よう。

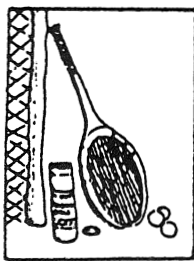


合同練習会

平成五年年度の合同練習会は、昨年度同様、大学生は秋季リーグと重なってしまい、約半数の大学生しか参加することができなかった。しかし、多数のOBの方々がいらして、小学生や中学生を御指導して下さい、また大学生も彼ら、特に中学生に対してテニスそのものだけでなく、練習が終わった後、ボールを素早く拾うことなどの練習態度も指導した。中学生のうちから練習態度を把握させることは、これから高校や大学で部活をやっていくうえで非常に重要なことだと思った。

このような練習会を機に、これからどんどん小学生から大学生までの交流が深まればいいと思った。大学生が小中学生の良い模範となれば、多くの小中学生、また高校生が大学生までテニス部を続けるようになっていくと思う。こうした練習会を増やしていけば、小中学生が力をつけていけば、将来より強い立教テニス部が実現するだろう。二年ぶりに大学生が参加した今回の合同練習会は、大学生にとっても小中学生にとっても良い経験となったであろう。

三年 松本俊一郎



同立定期戦

毎年の恒例である同立定期戦は、立教大学庭球部が新チームになって間もない伝統の一戦であり、同志社という強豪に打ち勝って自信をつけるための大切な試合であった。本学は関東資格所有者が一名であるのに対して、同志社側はほとんどが関西インカレ資格者であった。近年同志社には勝利を挙げたことがない。本学ではあったが、部員全員が夏合宿の成果をすべて出せるように一丸となったぞんだ。夏合宿でのつらい練習に耐えぬいたという自信を持って戦えば、必ず勝利を手に入れることができるであろうと信じて疑わなかった。

結果は同志社のNo.1が不出場だったにせよ本学から6-3の立教健児ここにありという堂々たるものであった。夏合宿での成果が随所に現れ、負けた3本も大変惜しい試合であった。我々はこの勝利で大きな自信を得て、リーグ第二戦まで負けなしの快進撃を続け、リーグ戦に向けての手ごたえを感じた貴重な同立戦であった。

二年 久々湊仁彦



明立定期戦

十月八日、明立定期戦が明治大学八幡山グラウンドにおいて行われた。明治大学は二部校であり、本学は五部校であったが、力の差がどれほどのものであるかは、試合が始まるまでは全く分からなかった。

試合はダブルスから行われた。明治大学の選手は、本学の選手よりも速い打球で厳しいコースをつけてきて、結果は〇対三という一方的な試合になった。しかし、シングルスでは本学の選手は皆、自分たちでできる限りの力を出して戦った。シングルスは二対五で、合計二対八という結果となったが、試合内容は内身のあるものであった。

明立定期戦は、結果的に大差で敗れたものだが、そこから得られたものは大きかった。それはリーグ戦に向けてこれからの課題とどんな相手であろうと勝つという自信であった。

二年 神藤 浩史

もっとすばらしいカーライフのために
大きさと細かさで
お応えします。

●取扱車種

乗用車/センチュリー・セルシオ・クラウン・ソアラ・マークII・
コロナ・カルディナ・コルサ・サイノス
商用車/クラウンバン・マークIIバン・カルディナバン・
ハイエース・トヨエース・ハイラックス

東京トヨペット 青山営業所

所長 豊田 資朗 (S42年)

TEL 03-3478-1471

〒107 港区南青山3-17-14 中山ビル

キメ細かく 強力にバックアップします

テレビ・ラジオ広告 新聞・雑誌広告
カタログ チラシ ポスター PRビデオ
展示会 ショールーム ネオン・屋外広告
スポーツ・文化イベント 店舗・商業施設
カレンダー 手帳 映像ソフト

株式会社 アド・メルコ

本社 東京都港区北青山2-12-2
支店 札幌・仙台・横浜・名古屋・金沢
大阪・広島・高松・福岡

常任相談役 岸本 駿二 (S27年)

TEL 03-3475-3160



株式会社 建設工業社

〒150 東京都渋谷区渋谷3-27-13

TEL 03-3409-9511 FAX 03-3409-9516

営業種目

特許小宮山式 スプリンクラー装置
特許CEC式 屋内外自動消火栓
各種消火設備設計施工
自動火災報知設備設計施工
各種消防設備保守点検

営業分室 TEL 03-3445-4411 FAX 03-3445-4412
山形営業所 0236-31-3103 0236-31-3153
仙台営業所 022-273-4812 022-271-9634
横浜出張所 045-316-7531 045-316-7532
大阪店場 06-864-4532
工 場 0482-22-5870

32年卒 小宮山 和 知

一年を振り返って

主将 千葉 素久

長い一年間でした。先輩方には「リーグ戦はすぐにやってくる」などと驚かされてばかりでしたが、私にとって主将としての一年間は時が流れるというより少しずつ積み重なっていきようでした。多くの感動、苦痛不安、喜びなどが一年間に凝縮され、充実していたからこそこのように感じたのかもしれない。

久々に昇格の記事をARTに載せることができた事は本当にうれしい事です。入替戦の夜はビールかけから始まり、胴上げもしてもらい、生涯最高の喜びを味わうことができました。

この喜びを来年も...と言いたるところですが、やはり昇格した以上さらなる厳しさが待っているとあります。河村をはじめとする新幹部はそれがよく分っていると思いますが、やはりどうしても昨年のようなOBの皆様の御支援、御指導が不可欠だと思います。私も中学、高校への指導と共に大学へも足を運ぶつもりです。今年も昨年同様にご富士見までいらして一言でも二言でも後輩に声をかけてやって下さい。宜しくお願い致します。

一年前、私がこのARTに書いたように、この昇格が本当に王座優勝へ向けてのスタートならば、やらなければならぬ事、変えてゆかなければならない事は数多くあると思います。結果は出せたとはいえ、私は監督の指示どおり全てを完璧になし遂げたと自信を持って言えるわけではありません。筋力トレーニングの完全定着、メンタル面の強化、女子部との相互協力、他多くの課題を残してしまいました。後輩達には、これらの事をあせらずじっくり考えて、一年という年月を積み重ねていってほしいです。

理事長、私のテニスの恩師西村先生、御指導いただいた有馬さん、広瀬さん、藤井さん、山田さん、その他たくさんの方の御協力をいただいたOBの皆様、本当にありがとうございました。

本年に向けて

新主将 河村 貴史

本年度主将を務めさせて頂くことになりました。OBの皆様、宜しくお願い致します。

昨年度は多くの御支援、御協力を頂き、四部昇格という結果を残せ、現役一同深く感謝しております。

おとし無念の五部降格となり、昨年断然強いといわれていた本学ですが、第二戦の明学戦に負け、苦戦をしいられました。しかし一試合、一試合、全力で一ポイントすら与えないという気迫が素晴らしい結果を生んだと思います。四年生が十一人が引退され、現在十六人とは異なりますが、少数精鋭で頑張っています。昨年の主将が本誌で掲げていた「一部へ向けてのスタートの年」を良い結果で迎えられたわけですが、二年目もこの勢いを受け継いで、さらなる飛躍をしてゆきたいと思っております。昨年私は、学連という立場で上部校の練習に参加したり、多くの熱戦を見て勉強してきました。外から見ますと本学は他校に比べ、内に籠もりがちであるため、個人戦などでは場慣れしていないといった感があります。今年私が重視したいのは、精神面の強化です。テニスにとってこれが一番難しいと思います。が、もっとも個人個人がテニスに対して貪欲にならなければならぬと思います。部で定められた練習をしただけで練習したつもりになっている感があります。どの大学の名選手も時間があつたらコートに入ってボールを打っているといった姿がありません。そんな人たちに勝つていかなければなりません。それには人と同じことをやっています。状況に追いこもうとする気持ちが大切だと思っております。体

卒業生紹介

○相見 典祐 主将

主将として一喝のもとに部をまとめあげられた相見さん。その姿とコート上でのあの気迫あふれるプレーは、まさにコート

○後藤 孝 主務

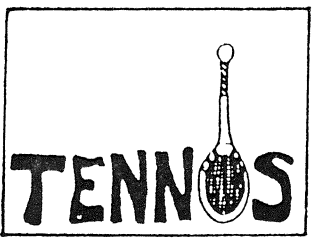
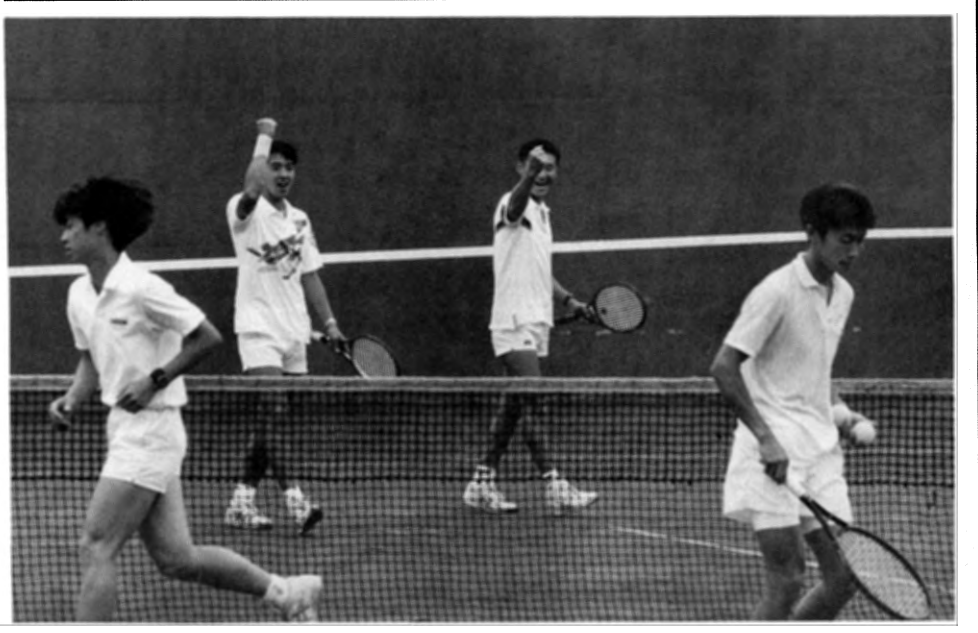
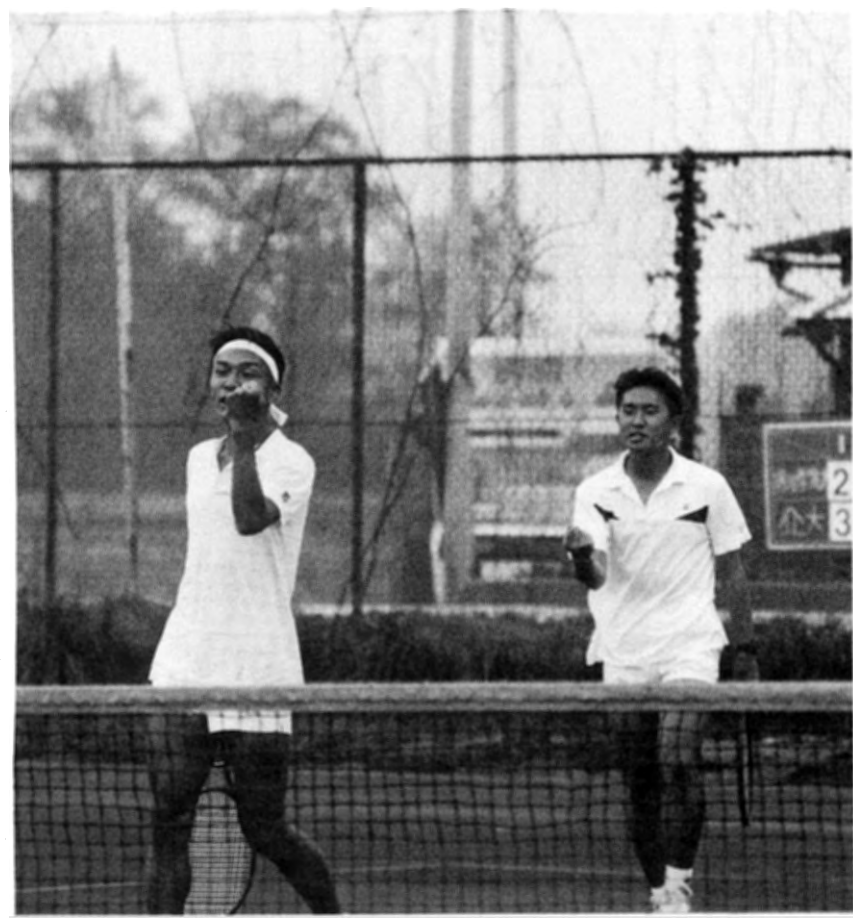
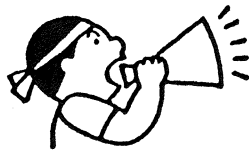
後藤さんのあのながれるようなフォームに僕は憧れたものでした。OBが来るとさっと主務の顔になって丁寧に接待する姿にもさすがと思われました。

○渡辺 雅庸 副将

立教の勝利を誰よりも願ひ、劣勢のチームを支えるお祭り男の渡辺さん。練習中もムードメーカーをかってでられ、そのプレーは今でもやきついています。

○二塚圭介学連

学連で急がしい中、練習に来ては部に気合を入れ直してくれた二塚さん。幹事長という重責を見事にはたされた二塚さんを僕は誇りに思います。



N.C.L.A. SPORTS

N.C.L.A. SPORTS
N.E.A.
NEW CREATIVE LIFE ASSOCIATION
YOUR BEST PARTNER FOR CREATIVE SPORTS

ガット張り 格安/
即張りも出来ます。
オリジナルウェアのオーダー
承ります。

武蔵野市御殿山1-3-7 長野ビル2F
☎0422-41-4008
AM10:00~PM8:00
年中無休

NEW CREATIVE LIFE ASSOCIATION

FIC INTERNATIONAL

株式会社フィックインターナショナル
〒171 東京都豊島区長崎4-16-8 メゾン小城山1F
TEL 03-5995-2151 FAX 03-5995-2150

■椿 三十郎	原宿	☎3408-9494
	池袋	☎5951-3355
■ハバナクラブ I	六本木	☎3405-4335
II	椎名町	☎3959-9882
III	池袋	☎3985-3948
■コーンフィールド	高円寺	☎3339-9310
■ケンジントンクラブ	王子	☎5390-1500

生・損保代理店

- 東邦生命
- 日本火災海上
- 大成火災海上
- 大東京火災海上

立教大学体育会庭球部名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校	〒	住所	☎
			部長	舟田正之		169 302	新宿区高田馬場4-21-9 ヴィラハシモト101 取手市台南2-2-11	03-3368-8103 0297-72-2574
			監督	鷺田典之		182	調布市国領町7-25-3-201	0424-89-6400
4	法	法		青崎琢也	立教	141	品川区上大崎3-1-17	03-3441-9819
	社	産		太田 治	都立石神井	167	杉並区上荻4-14-31	03-3396-1900
	社	社		小俣光司	立教	155	世田谷区代沢5-36-12	03-3414-2180
	経	営		酒本大輔	都立青山	157	世田谷区成城4-18-15	03-3482-2343
	法	国比		曾我石次郎	立教	272	市川市市川1-13-12	0473-23-4356
	済	済		千葉素久	立教	177	練馬区富士見台4-22-3	03-3970-0747
	社	社		中川孝博	海城	353	志木市上宗岡1-4-69	048-472-6171
	文	キリ		中村純也	県立泰野	259 -11	伊勢原市高森1540-14-204	0463-94-8626
	文	英米		羽鳥貴也	立教	201	狛江市中和泉4-5-20	03-3489-7002
		法	法		原 哲也	立教	178	練馬区西大泉1-26-11
	社	観		宮本匡彦	立教	110	台東区池之端2-5-34	03-3828-6078
3	理	化	主将	河村貴史	専修大松戸	271	柏市柏の葉3-3-13	0471-33-5338
	理	物	副将	出口卓央	県立春日部東	344 -01	北葛飾郡庄和町米島261-58	048-746-8599
	法	法	主務	山崎雄一郎	県立薬園台	274	船橋市三咲8-3-3	0474-49-0841
	社	社		保戸塚哲也	立教	176	練馬区豊玉南3-18-16	03-3992-1696
	済	済		松本俊一郎	P. I. S. M.	167	杉並区本天沼3-13-5	03-3395-3711
2	済	済		阿部 宏	立教	171	豊島区池袋3-44-3-104	03-3988-7473
	済	営		久々湊仁彦	県立富山東	115	北区浮間3-13-3 サンエイマンション202	03-3968-0180
	法	法	副務	神藤浩史	立教	203	東久留米市水川台1-19-2	0424-75-4370
	理	物		若狭信治	国学院久我山	214	川崎市多摩区寺尾台1-4923-9	044-955-1382
1	済	営		江渕正浩	都立小山台	145	大田区東嶺町4-3	03-3754-6654
	社	産		大熊隆史	立教	125	葛飾区高砂2-33-14	03-3658-6081
	社	観		岡 利之	立教	184	小金井市東町1-19-11	0423-85-8388
	社	社		桑田博史	県立新潟南	351 -01	和光市白子ばんどーら和光101	048-461-7978
	済	済		里和勇人	立教	164	中野区東中野2-4-16	03-3365-0683
	社	産		村木祐介	立教	183	府中市寿町1-6-3	0423-66-4563
	社	観		吉崎太二	立教	192	八王子市北野台2-29-16	0426-36-6206
2	済	営	女子マネ	橋之口優子	県立小金	277	柏市酒井根823-17	0471-73-7177
1	社	観		関 秋鹿	共立第二	192	八王子市中野上町4-32-10	0426-22-2976
	社	産		高木香代子	県立新潟高	164	中野区中央1-28-6 サンコーマンション201	03-3367-3654

平成六年度 新幹部紹介

主将・河村 貴史
0471(33)5338
副将・出口 卓央
048(746)8599
主務・山崎雄一郎
0474(49)0841
副務・神藤 浩史
0424(75)4370

現役一同、三部昇格を目指して努力していきますので、OB諸兄の日頃より一層の御指導、御鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。

新入生紹介

経済学部経営学科
一年 江渕 正浩

私が立教大学庭球部に入部した理由は、テニスが好きだったからです。もともとスポーツが

子供の時から好きで、いろいろなスポーツをやるうちに自分なりの硬式テニスだと思いついたのが高校の時でした。私はこの硬式テニスでテニスの技術面や精神面を鍛練していこうと思いましたが、それと同時にすばらしい人格を持った人間形成を自覚すると思えます。大学生活を充実あるものとするためにも今後がんばっていきこうと思えます。

社会学部 産業関係学科
一年 大熊 隆史

私が体育会硬式テニス部に入部した理由は、最後の学生生活であるこの立教大学での四年間を、無意味に終わらせたくない、何か一つそれに向けて一生懸命になれる目標を持ちたかったからです。現在の私の目標は、来年の関東リーグ戦のレギュラーになることです。達成するのは難しいかもしれませんが、一球

一球を大切にプレーし、毎日全力投球で頑張れば、絶対達成できると信じてやって行きたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

社会学部 観光学科
一年 岡 利之

私がテニスを始めたのは高校に入ってからでした。小学校と中学校では野球とサッカーをしていました。高校に入ってテニスをやろうと思った動機は、親が二人ともテニスをしていること、立教高校テニス部が強く、全国でも有名だということを知ったことです。

私が立教大学体育会硬式テニス部に入部したのは、一生懸命頑張るってテニスをしたい、ただそれだけなんです。今年の目標は精神的に強くなり、来年のリーグ戦に出場し、勝つことです。

社会学部 社会学科
一年 桑田 博史

私がテニスを始めたのは小学校五年生の時でした。父がテニスをやっていたという影響もありました。それから中学、高校の途中でテニスをやめようとした時期もありましたが、今まで続けてきました。

私が立教大学体育会硬式テニス部に入部したのは自分のテニスの実力が関東でどれだけ通用するか試したかったからです。そして部活を頑張る、関東学生になる、最終的にはインカレに出れるよう日々の練習に励みたいと思えます。

経済学部 経済学科
一年 里和 勇人

僕が体育会庭球部に入ろうと思ったのは、中学でテニスを始めてからだ。合同練習会で見た大学生は皆、体が大きく、テニスがうまく、当時の僕はあこが

れに似たものを持っていて。中学、高校とテニスを続けてきたが今年、ついに自分が大学生となった。

大学のテニスが今まで経験してきたテニスと違う事にはすぐに気付いた。あこがれから現実になった今、初心に戻りつつも当時の大学生の姿を求めてテニスを続けて行きたい。

社会学部 産業関係学科
一年 村木 祐介

私がテニスを始めたのは、立教中学校に入部してからでした。その後六年間テニスを続けていくうちに、自然と大学では体育会庭球部に入部しようという気持ちになりました。

今年には先輩の方々の努力によって四部に昇格したので、来年は先輩方の活躍を無駄にしないように三部昇格を目指して努力したいと思えます。そしてこれから大学の四年間の生活を通して

て、多くの経験を積み、多くの事を学びたいと思えます。宜しくお願い致します。

社会学部 観光学科
一年 吉崎 太二

僕は高校からテニスを始め、その頃は大学で体育会に入ろうとはまったく考えていませんでした。考え始めたのは三年の夏に団体でインターハイに行ったからです。なぜかという、高校から始めてインターハイに行っていたので大学でテニスをすればまだまだ伸びるのではないかと、またそれが自信となり、また高校の頃一生懸命練習したことに對して充実感を感じたからです。大学では今まで以上に一生懸命やり自分の精神と肉体を鍛え、一つでも多く勝ちたいです。

編集後記

この度ART11号を発刊に際しまして、大変お忙しいところ原稿をお願いした先生方、OB諸兄、さらに毎回広告をご協力して下さるOBの方々、誠にありがとうございます。

今年には新体制のもと部員一丸となって4部昇格を果たすことができました。この結果は、部員のみならず、多くのOBの方々のご尽力があったのだと感謝しております。

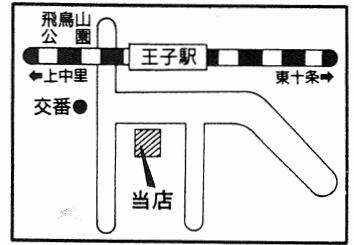
来年からも決してこの結果に満足することなく、さらなる飛躍へと部員一丸となって練習に取り組んでゆく所存です。これからもより一層の努力をしてまいりますので、何卒御指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

N A K A J I M A

REAL ESTATE
中島毛織株式会社
中島総業株式会社
株式会社ユキジャパン
〒374 群馬県館林市大手町7-20
TEL 0276-72-0420
FAX 0276-73-8175

G R O U P

opt house opt アイファッションと難しいメガネの専門店
王子メガネ
〒114 東京都北区王子1-9-1 電話 3913-1549



(各種コンタクトレンズ取扱っております)